

校外だより NO.2

日を追うごとに暑くなりますが、いかがお過ごしでしょうか。もうすぐ子どもたちが楽しみにしている夏休みが始まります。感染対策をしながらの長期休暇ですが事故やけがには十分注意して有意義な夏休みをお過ごしください。

- ◆ 旗当番は、原則としてすべてのご家庭にご協力いただいております。
決められた時間までに担当場所に到着し、班から遅れて登校する児童を含めたすべての班が登校するまで決められた時間内は担当場所を離れないようお願いします。当日都合が悪いときは次の方へ連絡するなど、**必ず当番が不在にならないよう**に配慮をお願いいたします。やむを得ず長期にわたりお休みを必要とする場合は、班長保護者を通して担当校外委員へご連絡ください。

- ◆ 各登校班の班長は、ランドセルに黄色の帯をつけています。子どもたちを信号などで止める場合班が分かれないう、班長への声かけの目安にしてください。今後も子どもたちの安全のためご指導ご協力をお願いいたします。



- ◆ 旗当番の際、交通違反の車両を見かけた場合は、子どもたちの安全を守るため取り締まりは警察にお任せしましょう。
- ◆ 出発時間が早くなならないように班で工夫をお願いします。
早く出発すると通過の際に旗当番がない場合があり、大変危険です。
また門が開く前に学校に到着している班が多数報告されています。
道路で騒いだり近隣の方にご迷惑がかかります。この時期は特に**熱中症**の心配もあります。
毎日8時前に到着している班は、班長を中心に出発時間の見直しをお願いします。

- ◆ 友だちの家に立ち寄ったり、違う道を通っていると、災害のときなどにむかえに行く保護者と会えないこともあります。
かならず通学路を通して帰るようご指導をお願いします。
- ◆ 子供の目線で通学路を一緒に歩いて、危険な場所や安全確認が必要な場所を見つけ、その理由と安全な通行方法を教えましょう。
- ◆ 登校中のマスクの着用については、5月30日付の学校から出されたおたよりをご覧ください。

子どもの特性のポイント

子どもが交通事故にあわないようにするためには、
発達途中の子どもの特性を十分に理解しておくことが必要になります。

① ひとつのものに注意が向くと、周りのものが目に入らない

子どもが道路の反対側にいるときは、絶対に声をかけないようにしましょう。

② その時々気分によって行動が変わる

出かける前に叱られたりすると行動が早急になったり、衝動的になったりします。
室内で遊んでいたあと外にでると、急に走り回ったりします。

③ 「あぶない」とか「注意する」というようなあいまいな言葉は、理解できない

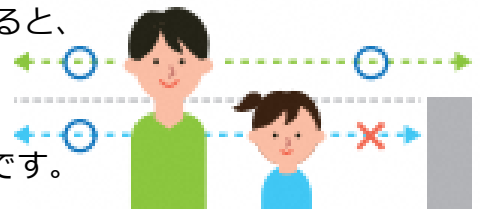
実際に何が危ないかを具体的に繰り返して教えることが大切です。

④ 状況に応じた応用動作が難しい

手をあげることで車が止まってくれるものと思ってしまう。
信号が青に変わればすぐに渡りはじめてしまう。

⑤ 大人がそばにいると頼る、大人をまねる

横断歩道があっても近いところを大人が横切ったりすると、
渡れるところと思ってまねをします。



⑥ 車や物陰で遊ぶ

車の陰にかくれたり、物陰で遊んだりすることが好きです。
見えないところからの急な飛び出しにもつながります。

⑦ 子どもの視野は大人より狭い

大人の目では左右確認ができるところでも子どもの視野や高さでは十分に見えていない
こともあります。

横浜市「通学路安全点検ハンドブック」より

※注意

出かける前に注意し急がせると子供が動揺し事故の原因となることもあります。
時間にゆとりを持って、笑顔で送り出しましょう。